

図書館へ行こう！

皆さんは、普段どこで読書の本を手に入れていますか？「本は必ず買う」、「家族や友人に借りる」、「公共図書館を利用する」、さまざまだと思います。学院図書館を利用することも、そんな手段の一つです。学院図書館の本は、全国学校図書館協議会の推薦表をもとに学院内すべての先生方が選定に携わり、構成されています。また進学指導の先生から紹介された図書も多く、大学受験対策に活躍する図書を集めたコーナーがあります。学院図書館をもうひとつの“自分の本棚”だと思って、積極的に活用しましょう。

本を読んで、大学へ行こう 今年の入試から — VOL. 2

宮崎県立高校入試問題 国語第一問 出典：湊かなえ著『ブロードキャスト』2018 年 KADOKAWA 刊行

湊かなえが初めて挑む、湊かなえだからこそ書けた、心ふるわす青春学園小説！

「胸の内に何か抱えているのなら、ドラマチックな青春よりも、ドラマをつくる青春の方がおもしろいかも说不定」——町田圭祐は、中学時代陸上部に所属し駅伝で全国大会を目指していたが、3年生の最後の大会、わずかの差で出場を逃してしまふ。陸上の名門校青海学院高校に入学した圭祐だったが、ある理由から陸上部に入ることを諦め、同じ中学出身の正也から誘われてなんとなく放送部に入学することに。陸上への未練を感じつつも、正也や同級生の咲楽、先輩女子たちの熱意に触れながら、その面白さに目覚めていく。目標はラジオドラマ部門で全国高校放送コンテストに出場することだったが、制作の方向性を巡って部内で対立が勃発してしまふ。果たして圭祐は、新たな「夢」を見つ



『告白』が大ベストセラーとなった湊かなえ。映像化された作品もいくつかあり、学院図書館には 15 冊ほどの著書があります。



宮崎県立高校入試問題 国語第二問 出典：齋藤孝著『まねる力-模倣こそが創造である-』

厳しい現代社会を生き抜くためにもっとも必要なもの—それが「まねる力」だ！

『声に出して読みたい日本語』でおなじみの齋藤孝氏による評論文。いま私たちの仕事の現場や子どもたちの教育の場では、かつてないほど発想力や問題解決能力が問われている。それらは地道な知識の習得と、徹底的な反復練習で身につけるしかない。この難関を突破するための最高のスキルが「まね」。できる人のやり方を自分流にアレンジして、新しいクリエイティブを生み出そう。齋藤流「真似するメソッド」を提唱する。

このような評論文を読み解くには、新書を読むことが欠かせません。学院図書館には 5 千タイトルほどの新書をそろえていますので、つねに 1 冊は傍に置いておきましょう。齋藤孝著の新書も多数あります。

春休み特別貸出

貸出期間 3/12(火)～3/27(水)

貸出冊数 10冊

返却期限 4月10日(水)厳守

予告：2019 春休みの図書館利用日

下記の期間の利用時間は 9：00～17：00 です

日	月	火	水	木	金	土
17	18	19 終業式	20	21 休	22	23 休
24	25	26	27 休	28 休	29 休	30 休
31 休	4/1 休	2 休	3 休	4 休	5 休	6 休
7 休	8 始業式	4/10 から通常開館(10:00～18:15)です。				

☆3/28～4/7 の間、図書館は休館します。

有意義な春休みにするために、1日10分でも読書の時間を持ち、新書の数々や難解な文学作品に触れるよう心がけましょう。